

発言通告表（一般質問）

令和4年6月定例会

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
1	遠藤 盛正（14）	<p>1. 富士市のスポーツツーリズムを進めるための観光交流拠点機能の整備について</p> <p>本年4月、第三次富士市スポーツ推進計画（5か年間）が示されました。基本目標には「『する』『みる』『ささえる』スポーツ参画人口の拡大」を掲げています。幾多の課題はあるものの、富士市民に対するスポーツの推進がうたわれているところは、大いに期待が持てるものですが、これからの課題として「身近なスポーツ環境の整備と情報発信が十分でない」、「全国規模大会の開催が増えていない」という点について、スポーツツーリズムの視点から再編及び新設された産業交流部交流観光課の役割について伺います。</p> <p>第三次富士市スポーツ推進計画の中で、スポーツ環境の整備・充実では、これからスポーツ施設の維持・改修、スポーツ関連情報の発信等に取り組むとしています。これまで市内スポーツ施設の大半を公益財団法人富士市振興公社が指定管理者として運営管理していますが、今年度様々な問題について検討・議論されていて、本年10月頃には今後の指定管理者について、何かしらの答えが出るようなので、充実した体制が組めるよう期待しております。ただし、検討していただく中で、現在の富士市スポーツ施設指定管理者の仕様書にある「自主事業を拡大し、魅力ある事業を展開する」という点の解釈については、いま一度、指定管理者が伸び伸びと活躍できるような見直しをお願いします。</p> <p>今回の質問に当たり、「スポーツツーリズムとは」について確認したいと思います。スポーツツーリズムとは、スポーツを「観る（観戦）」、「する（楽しむ）」ための移動だけではなく、周辺の観光要素、スポーツを「支える」人々の交流や地域連携など、スポーツとの関わりを持つ様々なシーンに観光要素を付加してサービスの複合化を目指すものです。令和7年度、供用が開始される予定の富士市総合体育館や富士川緑地の整備が進んでいる中、スポーツのメッカとして施設は充実されても、管理運営体制ができていなければ「仏作って魂入れず」になってしまいます。</p> <p>そこで今回の質問は、スポーツツーリズムを実現するために富士市が観光交流拠点機能をどのようにつくり上げていくか伺います。また、富士市総合体育館については御承知のように、PFI事業により民間の管理・運営が決まっています。再整備される富士川緑地をはじめとする市内のスポーツ施設の管理・運営について、スポーツツーリズムの観点から、民間活力を生かしどのように進めていくのか、今年度再編・新設された産業交流部交流観光課の役割について、以下質問いたします。</p>	市長 及び 担当部長

順位	氏名（議席）	発 言 の 要 旨	答 弁 者
1	遠藤 盛正（14）	<p>(1) 以前のスポーツ振興課から移管されたものに、富士山女子駅伝、富士山サイクルロードレース、ふじかわキウイマラソン、オリンピック時などでの海外からの合宿誘致があると思うが、これらへのこれからの関わり方とそれ以外の大会・合宿の誘致は考えているか。</p> <p>(2) 観光を兼ねるスポーツツーリズムを進めるには、富士山観光交流ビューロー、富士川楽座との連携は欠かせないと思うが、その関わり方と、その他富士市で行われている全国大会の競技について、各種スポーツ関係団体やホテル旅館業組合との連携はどのように考えているか。</p> <p>(3) 以前より御提案している富士川緑地を利用したスポーツ合宿や大会を誘致するためには、近くに合宿施設や室内練習場が必要だと訴えてきた。本年4月に静岡県のある所有地である県営住宅自由ヶ丘団地で一部跡地が売却されると聞いた。そこで同地に県主導で合宿施設、室内練習場を建設していただくよう、富士市からお願いしてはと思うがいかがか。</p>	市長 及び 担当部長